



## Empowering the world with innovative material



ここ数年の間にいくつかの戦争などの影響もあり、欧米を中心にインフレが加速し、円安も相まって欧米など海外に行くといくらでもなく物価の高さに驚きます。それと同時に、日本の物価や賃金が過去から変わらない状態が目立つようになってきたとも言えることで、まさによく言われる日本の失われた 30 年を痛感するようになりました。事実、他国に比べて一人当たりの GDP は過去 30 年ほとんど変わっておらず、同時に日本企業の世界での存在感も 30 年の間に全く失われてきました。IT 産業が存在感を増した部分もありますが、日本のモノづくり自体が過去 30 年競争に負け、外資に変わり、日本の本来持つモノづくりの魂が失われてきた

部分も多くあるのではと思います。デフレマインドが蔓延し、安く作ることがいいこととなり、日本のモノづくりの精神、とことんこだわりのあるモノづくりではなく、如何にコスト安に作るかということに進んできたことも成長をストップさせてきた要因があるのではと個人的には思っています。

期せずして、今はデフレからインフレに変わってきています。日本の私たち世代は経験してこなかったインフレですのでまだまだ戸惑いがありますが、またそれに伴う賃上げも私たち中堅中小企業にとっては防衛的な賃上げではありますが、流れはインフレになってきているので、今こそ日本企業にとって安いものを作るというのではなく良いものをつくる本来の日本の力を発揮する時が来たと思います。一方、少子高齢化の流れの中で人材の売り手市場となり、人材獲得は年々難しくなっていますが、逆に言えばこれほど人を大事に思い、重視するような世の中は今までになかったこととも言えます。AI が発展してきているとは言え、モノづくりの中心はまだまだ人です。転職市場が活況になればなるほど幸福経営が重視されてきて、心理的安全性の元、仕事のやりがい、生きがいが見直されてきています。弊社も残念ながら離職者が出ることがありますが、日本の社会には欧米のように頻繁な転職は文化的に合わないと思います。出来るだけ同じ会社に長く働き、組織力を強めることこそが日本の会社を強くし、元々持っている日本のこだわりのあるモノづくり力を発揮していくことと思います。日本の企業の 99% 以上が中小企業と言われます。その一社一社の中小企業のモノづくりが変われば日本は変わりますし、世界を変えていくことも可能だと思います。今こそチャンス。そう信じて、今後もこだわりのあるモノづくりに邁進していきたいと思っています。

安積濾紙株式会社

代表取締役社長

安積 寛

## 屋久島見学講演会 開催報告

日 時：2026 年 5 月 14 日(木)～16 日(土)

場 所：鹿児島県屋久島町

参加人数：10 人

環境・エネルギー委員会は、2026 年 5 月 14 日(木) から 16 日(土) にかけて、屋久島見学講演会を開催した。世界自然遺産にも登録された豊かな自然と独特な生態系を有し、屋久杉の大量伐採から保護の歴史が色濃く残る屋久島で、自然と産業の共生の可能性を探る現場の取組を学ぶため、三岳酒造、屋久島縄文牛ファーム、白谷雲水峡、西部林道の見学、また、屋久島の自然との共生と持続可能な事業について議論する講演会が行われた。好天にも恵まれ充実した見学講演会となった。

### 屋久島講演会 (5月14日)

地元屋久島で自然と人の共生に関わるイベントや子供たちへの教育など精力的な活動を行っている NPO 法人 HUB&LABO Yakushima 代表の福元豪士氏と、リファインホールディングス(株)代表取締役社長 川瀬泰人氏の講演が行われた。

福元氏の講演「屋久島から地球が見える。」では、世界自然遺産にも登録されている屋久島の 2,000m 級の山々がもたらす年間 8,000mm の降水量と豊かな森、海など偉大な自然の紹介、人々がこれらの自然と共生して生きる屋久島憲章が紹介された。さらに屋久島で培われた自然との共生の叡智を世界・地球の視点へ拡張し「青い地球と共に私たちはどう生きるのか？」をテーマに開催された「屋久島と地球の未来会議」が紹介され、「環境問題は人の問題」と捉え、自然観、社会観、事業観の点から現代社会の課題を考えると現代人は自然観を養うことがより重要であることを強調されていた。屋久島は、未来へと続く人類共通の遺産であるというメッセージが強く印象に残った。

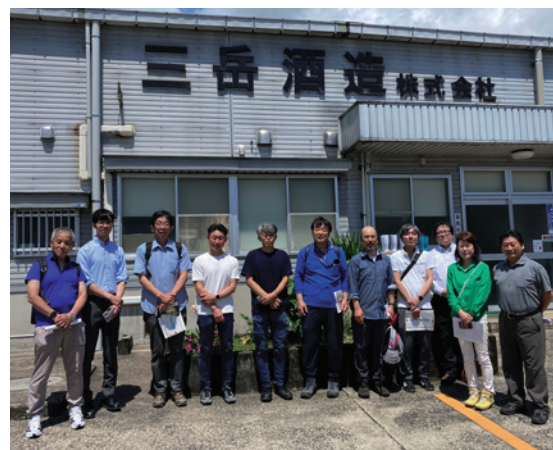
川瀬氏の講演「リファイングループの持続可能な事業について」では、リファイングループの経営理念である「資源」、「環境」、「こころ」とその根底にある自然観が紹介された。屋久島では、経産牛を従来は廃棄されていた焼酎の搾りかすなど地域資源を飼料として活用し飼育することにより肉質を向上させ、屋久島の新たな食文化「縄文牛」としてブランド化する持続可能な循環型事業が紹介され、事業展開のきっかけやブランド化へ苦労している点などの具体的なエピソードの紹介もあった。経営理念を事業として立ち上げて具体化するまでの過程は人と自然の共生への取組例として大変参考になった。



福元 豪士 氏

## 三岳酒造見学 (5月15日)

屋久島の豊かで良質な水を利用して芋焼酎を製造している三岳酒造を見学し、焼酎の製造工程を、原料の保管、加工、製麹、発酵、蒸留工程まで現場プロセスを見学しながら詳細な説明がなされた。また、メタン発酵による製造工程で排出される廃棄物の減容化とエネルギー回収など環境に配慮したプロセスについて説明され、最終的な残渣は島外での処分が行われているなど島嶼における廃棄物処理の課題も紹介があった。



三岳酒造

## 屋久島縄文牛ファーム (5月15日)

牛舎は、幹線道路からやや離れた森のなかにあり、牛へのストレスも配慮されて比較的広く、健康的な環境で経産牛の飼育がされていた。使用されている飼料は、地元の未利用資源である焼酎の搾りかすを発酵させて作られたもので独特の香りがあり、この飼料により飼育牛の腸内環境も変化することによって排せつ物のにおいもほとんど気にならなかった。牛の健康に配慮した約半年間の飼育で良質な肉質に変化することであった。

この牛舎の特徴のひとつは、牛舎に来てまず目につく“感謝と祈りの場”である。ここでは、人が自然の恵みの中で生かされていることへの感謝、人の食となるすべての生きものへの感謝と祈りの場として設置されており、この事業の根底にある自然観を象徴していた。



屋久島縄文牛ファーム

## 白谷雲水峡 (5月15日) と西部林道 (5月16日)

屋久島の特徴である屋久杉や生態系を体感するため、白谷雲水峡では屋久杉の原生林と苔むす森をトレッキング体験し、西部林道では島内の豊かな水が形成する滝や島の生態系を構成する動植物を間近で観察した。屋久島の自然の偉大さを感じると共に、人と自然の共生を考えるうえで貴重な体験となった。

## まとめにかえて

離島では“水とエネルギーをどう確保するか”がまず課題となるが、屋久島では豊富な水資源と水力発電により両者は持続可能なレベルで解決されていた。屋久島の現在取り組んでいる課題は“人と自然の共生”であり、これは日本や世界が取り組むべき一歩先に進んだ課題である。屋久島が未来の日本や世界の縮図として今後どのように人と自然の共生を実現していくのか、これからも着目していきたいと思った。

今回の見学講演会は、リファイングループの関係者に企画から現地案内まで大変お世話になり、また現地での事業化の実行力に大変感銘を受けました。ここに謝意を示します。

〈横浜国立大学 中村 一穂〉

# SDGs研究委員会セミナー

テーマ：SDGsの基礎セミナー

日時：2026年6月18日 13時20分～17時00分

場所：東京都中央区日本橋本町2-8-8 宇津共栄ビル6階会議室

参加人数：27名

## 【目的】

SDGsの基本理念と17ゴール（目標）について理解を深める。

2030年までに世界の「行動計画」、企業を取り巻く環境変化を学ぶ。

## 【内容】

はじめに「SDGsクイズ」が行なわれた。6年前にスーパーマーケット売り場からある商品がなくなった。それは为什么呢？この時なくなったのは、トイレトペーパーでした。（2020年は）日本でもロックダウンになるのではないかと心配になり我先に多く買っていった。

SDGsのスローガンは「誰一人取り残さない」

言いかえれば「うばい合えば足らぬ わけあえばあまる」です。SDGsの考えになります。日本の食品ロスは、約464万トン、食べられるのに捨てられている食品。国民一人当たりおにぎり1日1個に相当です。世界の食料支援量約370万トン。日本だけでほぼ同量を捨てている。日本の食料廃棄は食料支援と同じ量です。食品自給率37%。搬送・焼却処理で税金約1兆円である。こうした身近なところでおきている。あす地球の人口は何人増えているでしょう？世界中が日本人と同じ生活をしたら地球は幾つ必要でしょう？

人類は地球1つで足りない生活をしています。ボランティアや寄付だけでは長続きしないのでビジネス（企業）を巻き込み継続的に、世界の課題を「ビジネス」の力で解決する。



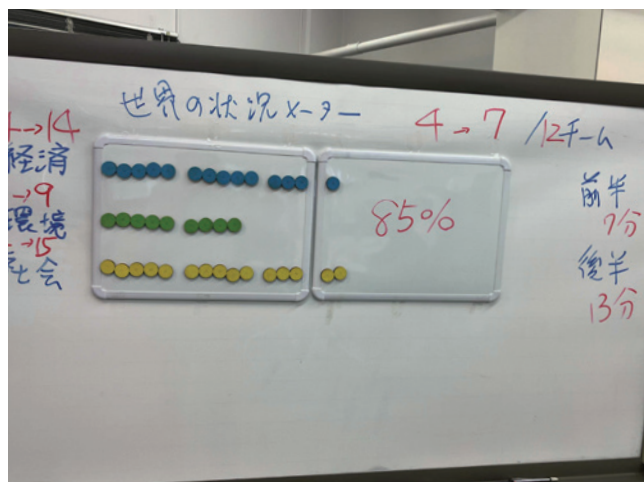
講義の様子

2015年9月に国連全加盟国の賛成で採択。地球上の「誰一人残さない」を誓う。2030年までの世界の「行動計画」。17目標と具体的な169のターゲット。SDGs採択文書 人間＝社会、地球＝環境、繁栄＝経済のための行動計画である。

ゲーム「2030SDGs」では二人一組で協力し合い、ワークショップを体験することができた。自分ごととして捉えられるようになっていた。経済（青色）・環境（緑色）・社会（黄色）の指標、重要性をリアルに感じられた。前半の経済（青色）だけ重視していた結果をみて、後半にはバランスがとれるように実践した。



カードゲーム



振り返りワークショップ

## 【所 感】

今回のセミナーを通じて、SDGsは単なるスローガンではなく、社会・企業・個人が協力して未来をつくるための実践的な指針であることを再認識した。

今後は、学んだ内容を自らの行動や組織の取り組みに反映させ、持続可能な社会の実現に貢献していきたい。

〈野村マイクロ・サイエンス株式会社 平野 智之〉

## 私の研究内容

日本大学生産工学部 教養・基礎科学系 朝本 紘充



私は博士課程在学時より、アミノ酸、ペプチド、タンパク質などの生体成分を対象とした高速液体クロマトグラフィー (HPLC) による分離分析、および微量成分の高感度検出法の開発に従事してきた。

生体内において、一部のタンパク質は周囲の環境の極性や pH の変化に伴って立体構造が変化し、アミロイド線維をはじめとする難溶性の凝集体を形成する。これらの凝集体は分子間の非共有結合性相互作用によって形成されているため、シリカ粒子などを充填した従来型 HPLC カラムでは、カラム内で生じる高い圧力などによって凝集体が崩壊するという課題があった。また、チオフラビン T (ThT) を用いた従来のバッチ式蛍光測定では、凝集体のサイズや会合状態に応じた詳細なサイズ分布を解析することは困難であった。

そこで我々の研究グループは、流体抵抗を低く抑えられるポリテトラフルオロエチレン (PTFE) チューブを分離場 (中空カラム) として利用する新規分析システムを考案した。本システムでは、移動相に ThT を添加することで凝集体のオンライン蛍

光検出を可能とした<sup>1)</sup>。実際に、アルツハイマー型認知症 (AD) の原因物質であるアミロイド  $\beta$  ( $A\beta$ ) 凝集体を対象に分離挙動を検討した結果を図に示す。高分子量凝集体は Tubular pinch 効果に代表される流体力学的分級作用により層流の中心部へ集中し、早期 (24 分付近) に溶出することが示された。一方、低分子量成分はチューブ内壁との分配相互作用により保持され、遅れて (50 分以降に) 溶出した。すなわち、本手法では単一の分離場において「分級」と「分配」という 2 つの異なる分離機構を同時に機能させ、凝集体を崩壊させることなくサイズ分画することに成功した<sup>2)</sup>。

本技術は、タンパク質凝集体の高精度解析を可能とする新たな分析基盤であり、AD をはじめとするアミロイド関連疾患の診断研究への応用が期待される。さらに、微粒子分散系の動態解析やナノ粒子の分散・凝集評価など、幅広い分野への展開可能性を有している。

## 参考文献

- 1) 朝本紘充, 長嶋恭介, 中釜達朗, 齊藤和憲, 南澤宏明, 分析化学 (BUNSEKI KAGAKU), **66**, 2, 89-94 (2017)
- 2) H. Asamoto, K. Nagashima, T. Nakagama, K. Saitoh, H. Minamisawa., Salt and Seawater Science & Technology (SSS&T), **5**, 66-73 (2025)

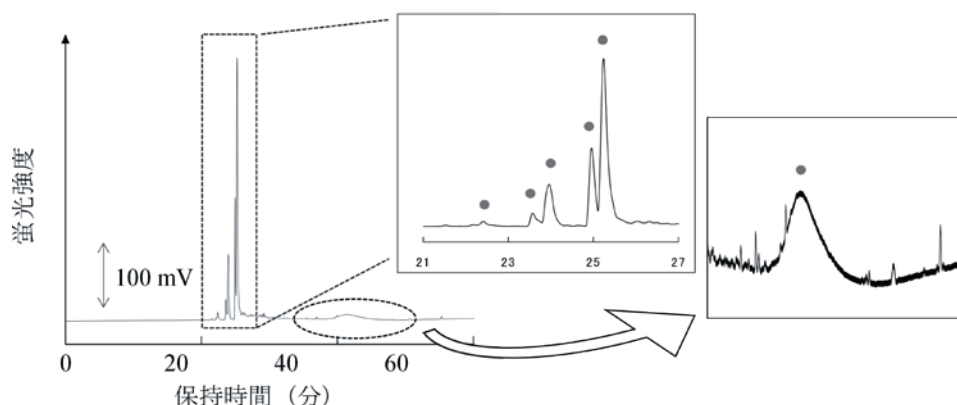


図. PTFE チューブを分離場とした  $A\beta$  凝集体のクロマトグラム。

HPLC 測定条件

カラム: PTFE チューブ (内径 0.50 mm, 長さ 10 m);

移動相: 50  $\mu$ M チオフラビン T 溶液 (pH 9.0);

流速: 0.05 mL/min;

検出器: 蛍光検出器 (励起波長 435 nm, 蛍光波長 485 nm)。

## 企業紹介

## 森永エンジニアリング株式会社

森永エンジニアリングはかがやく笑顔のために、食と住と環境を総合的にとらえ、森永乳業グループの一員として、サステナブルでより良い明日を提案し続けるトータル・エンジニアリング企業です。

プラント技術部、環境技術部、機能水事業部、住宅機器販売部という4つの部門を有機的に接続し、食品メーカー系のエンジニアリング会社としてのノウハウを活かし様々な視点からお客様のニーズにお応えし「安全・安心・高品質」な価値を提供しています。

日本液体清澄化技術工業会（LFPI）には会の設立当初から水処理をはじめとした清澄化技術の情報収集・技術交流の貴重な場として入会させて頂いております。今後とも日本液体清澄化技術工業会が発展することを祈念いたします。

〈森永エンジニアリング株式会社 植野 聖視〉



## プラント技術部

食品メーカー系のエンジニアリング会社として、生産技術をプロセス設計や制御に活かすノウハウを有し、衛生区画・動線を考慮した工場、設備の適正配置、稼働実績に基づくユーティリティ設備の省エネ計画など、様々な視点からお客様のニーズにお応えする食品トータル・エンジニアリングを提供しています。

## 環境技術部

排水及び用水処理設備のトータルエンジニアリングで地球環境に貢献しています。食品の様々な業種（乳製品、菓子、飲料、水産・食肉加工、弁当、食品加工・香料・化学、医薬、生活排水）に対して長年培ってきた多くの実績・経験を活かしお客様へ。

## 機能水事業部

森永乳業が開発した衛生管理製品の製造販売を行っています。飲食店から食品工場まで様々な業態の衛生管理を支える次亜塩素酸水生成装置（ピュアスター）の製造販売等。

## 住宅機器販売部

住空間の快適イノベーションを目指し暖房、空調、衛生に関する製品の輸入、販売、商品開発を行っています。

## 企業紹介

# 株式会社 IHI 回転機械エンジニアリング

IHI グループは、1853 年創業以来、時代とともに技術を磨き、社会や産業の要請に応え続けてきました。

地球環境の変化や地政学リスクの高まりによりエネルギーやインフラを取り巻く不確実性が増す中、人々の暮らしや産業活動を支える基盤の重要性は、これまで以上に高まっています。社会や産業基盤の安定に貢献していくことを目指しています。

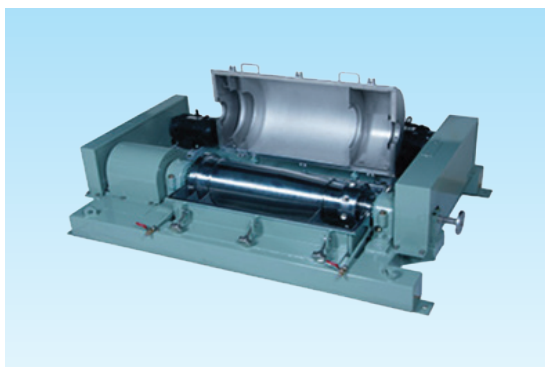
分離装置事業においては、下水処理・化学・医薬・食品・新素材など、多種多様で重要な位置づけとなる分離プロセス分野に、下記の豊富なラインナップで貢献してまいりました。

1. 高速回転技術を駆使した遠心分離機「スクリュウデカンタ形遠心分離機」
2. 重力濾過を原理とした低振動・低騒音・低臭気で環境にやさしい「多重円板脱水機」
3. 弊社の分離機・濾過機のうち、最も低いケーキ含水率の得られる「ベルトプレス脱水機」
4. ケーキ排出まで全工程が自動運転可能な水平濾葉加圧形濾過機「IHI-リーフフィルタ」
5. 全自動濾過機で、接液部に樹脂製部品の適用が可能な「IHI-FUNDABAC フィルタ」
6. 高速回転技術で堅型・連続全自動遠心濾過式の「ギナ連続遠心分離機」

長年にわたり培ってきた技術を、お客様が直面する課題の解決に貢献していきたいと願っています。

IHI グループが古くから掲げる経営理念である「技術をもって社会の発展に貢献する」を深く胸に刻み、自然と技術が調和する社会・サステナブルな社会の実現に貢献していくとともに、皆さまからの信頼に応えてまいります。

〈技術センター 分離装置設計部 宮尾 健太郎〉



スクリュウデカンタ形遠心分離機



ギナ形遠心分離機



IHI-リーフフィルタ



IHI-FUNDABAC フィルタ



## 技術委員のつぶやき話(その63)

東レ株式会社 水処理事業部門 波田 達也

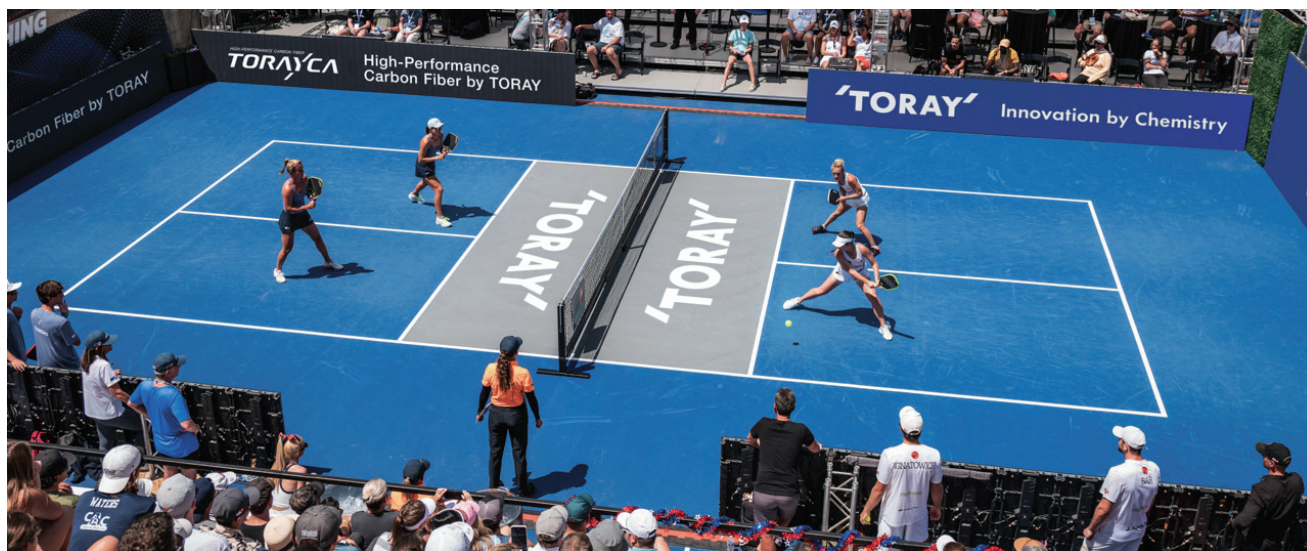
### 「ピックルボール」を楽しもう！

皆さんご存じでしょうか？

最近、アメリカを中心に人気が広がっている「ピックルボール」。テニス、卓球、バドミントンをミックスしたような競技で、専用のパドルと穴のあいた軽いボールを使って楽しめます。コートはバドミントンくらいの広さなので、走り回りすぎることもなく、初心者やシニアの方でも気軽に始められるのが魅力です。

ただ簡単なだけではなく、ネット際でのやり取りや、相手の動きを読んで打つショットには意外な奥深さがあり、やればやるほど面白くなっていきます。もう一つの魅力は、年齢や体力に関係なく、みんなで一緒に楽しめること。家族や友人、職場の仲間と笑いながらラリーを続けていると、自然と会話も生まれます。健康づくりにもなり、人とのつながりも広げてくれるスポーツです。

日本でも体験会が増えており、また、競技人口が大きく増え、専用施設や大会も広がっており、これからますます身近な存在になりそうです。勝ち負けだけでなく、誰かと楽しく汗を流せること。それこそが、ピックルボールの一番の魅力ではないでしょうか。(東レは、米国プロピックルボールリーグ (MLP: <https://www.majorleaguepickleball.net/>) 公式パートナーです)



(引用) <https://www.toray.co.jp/news/article.html?contentId=1fg3wigd>

## 情報アレコレ

## 広報委員会がちょっと調べてみました

## 第42回

## ( 女の子のずきんの色は? )

今回は童話について調べてみました。童話なんて…と思われるかも知れませんが、こんな話はご存じですか？

金色のずきんをかぶった女の子のお話<sup>1)</sup>

大雑把には赤ずきんちゃんと同じお話。ずきんの色が違うだけ？いえいえ、ずきんの色の意味や、おばあちゃんの設定など、細かい点は異なります。

特に異なるのは、おばあちゃんでしょうか。最後にオオカミ退治までやってのけます。

約束を破るお話<sup>2)</sup>

約束を破った場合、破った当人に悪いことが起こることが多いですが、そうではないお話もあります。

ご紹介するのは、弟の世話を任された兄と姉が、世話をしなかった話。しかしその結果の「悪いこと」は、弟の身に降りかかります。兄と姉は約束を破ったことを悔やむだけで、五体満足で生き続けます。

王女様が美女と結婚するお話<sup>3)</sup>

男装の王女が無理難題に立ち向かうお話。この話では最後に王女様は本当に男性になり、美女と結婚してしまいます。

「男であれば女になれ、女であれば男になれ」この呪いの言葉が、呪いにならなかったお話です。

加えて、とても器用な鼻息を出す馬が出てくる話でもあります。

王女様との結婚を断るお話<sup>4)</sup>

物語の締め括りとして多く見られる、「高貴な方との婚姻」が、断られるお話。何しろこのお話の主人公、すでに妖精と結婚していたので。

記憶喪失や権力による強要などで別の相手と結婚しそうになり、最終的には本来の相手と結婚する、という流れのお話が複数見られる中で、本来の相手を忘れなかった、珍しいお話です。

おそれ知らずがおそれを知るお話<sup>5)</sup>

「おそれ」を探す若者が出てくるお話。盗賊平気、死人平気、人外平気。そんな彼がとうとうおそれを知るのは、自分が「新しい王」に選ばれた時です。大概の童話は権力万歳ですが、この若者は現実的だったようです。

だからこそ、頭を垂れ、運命を受け入れて終わります。

今回ご紹介した話は、筆者が独断で選びだしたお話です。ご紹介した以外にも、いろいろと面白い話があります。

うさぎが魚を食べたり、ちからの証明がワニ退治であったり。無くなった手が生えることもあれば、体の一部を切り取って渡すこともある（それでも死なない）。

改めて読み返してみれば、夢と希望と愛に満ちあふれてもいないし、善人が救われるばかりでもない童話の世界。それでも参考にした本の帯の言葉を借りれば、「すべてのファンタジーのみなもと」です。

電子書籍なら全集買ってもかさばりません。たまには童話を読んでみるのもいかがでしょうか。

〈株式会社加藤美蜂園本舗 本間しおり〉

出典：アンドルー・ラング世界童話集 全12巻（東京創元社）

- 1) 金ずきんちゃんのほんとうの話（第2巻 あかいの童話集）
- 2) 男の子とオオカミー守られなかった約束（第4巻 さいの童話集）
- 3) 男になりすました王女（第7巻 むらさきいろの童話集）
- 4) パペラレッコ（第8巻 べにいろの童話集）
- 5) ついにおそれを知った若者の話（第11巻 くさいの童話集）





私たちも頑張ってます! ~若手社員の仕事風景~

## 帝人フロンティア株式会社

### ナノフロント®で挑戦する フィルター開発

技術・生産本部  
産業資材開発部 ソリューション開発課

井村 朱里



帝人フロンティア株式会社は、繊維を中心とした技術を活かし、衣料や産業資材分野など幅広い分野に、素材および製品の提供を行っている会社です。私は2024年に新卒で入社し、2025年から帝人独自の超極細繊維である「ナノフロント®」を活用した液体フィルター用濾材の不織布開発に携わっています。

この繊維は、400～700ナノメートルと非常に細く、不織布にした際に微細な孔径構造を形成できるため、フィルターとして高い捕集性能を発揮できるのが特長です。現在は、社外の加工場と協力しながらナノフロント®不織布の開発を進めつつ、社内ラボでろ過性能の評価を行い、お客様の用途に合う不織布の設計を検討しています。

実際の開発では、思うような結果が出ないことも多く、そのたびに現場の方と一緒に原因を考えて条件を見直しています。設備や加工方法のちょっとした違いで結果が大きく変わる難しさに戸惑うこともあります、その一つ一つを理解していく中で、自分自身が少しずつ成長できている実感があります。

これからも、上手いかわないことがあっても、「まずやってみる!」という気持ちを大切に、日々課題に取り組んでいこうと思います。今後はさらに経験を積みながら、周囲の方との関係も大事にして、信頼される技術者になりたいです。そして、ナノフロント®の可能性をもっと広げて、より高性能で価値のあるフィルターを世の中に届けられるよう、頑張っていきます!

## 新会員企業のご紹介

## 荏原実業株式会社

荏原実業株式会社は1945年創業の技術商社です。翌1946年に風水力機械などの販売を目的として、東京都中央区に荏原工業株式会社として事業を開始しました。

1950年には荏原製作所と代理店契約を締結。ポンプや送風機などの販売を本格化させるとともに、機械の据付・配管工事までを担う体制を構築。その後、1952年に社名を荏原実業株式会社へ変更し、機器販売と施工を一体で提供する事業基盤を確立しました。

1956年には、上下水道施設や各種水処理施設を対象としたエンジニアリング事業を開始。設備の計画・設計・施工・保守までを担うことで、社会インフラを支える企業としての基盤を強化。さらに1970年代以降は、公害問題や環境意識の高まりを背景に、自社技術による計測機器や環境関連製品の開発を進め、メーカー事業へと事業領域を拡大してきました。

現在、荏原実業は「商社事業」「エンジニアリング事業」「メーカー事業」の三事業を柱とし、水と空気を中心とした分野において、お客様の多様な課題に応えるソリューションを提供しています。特に水処理分野においては、計画立案から評価、設計、施工、運転・維持管理までを一貫して支援する総合力を強みとしています。

### 【エンジニアリング事業】

- 水処理プラント等のシステム設計
- エンジニアリング（設計・施工・保守）

主な納入先…浄水場、下水処理場、ポンプ場、排水機場、地下調節池、親水公園、水産養殖場



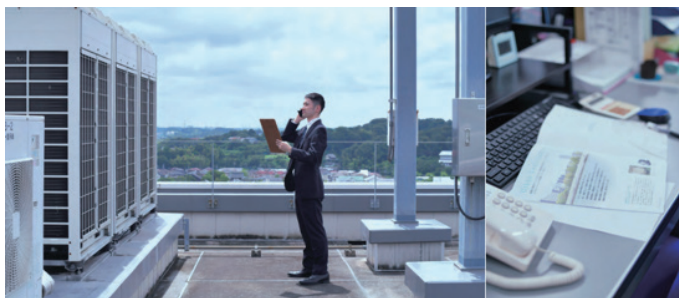
### 【メーカー事業】

- 水質・ガス関連の環境計測機器
- 脱臭・環境改善関連製品
- 空調（除湿機）関連製品
- 環境負荷低減に寄与する製品の研究開発



### 【商社事業】

- ポンプ、送風機、ブロワ等の風水力機器の販売
- 給排水・空調・水処理関連機器の選定・供給
- お客様の要求条件に応じた機器・提案



〈荏原実業株式会社 技術開発本部 技術推進室 兼かずさ生産技術センター 中谷 輝〉



## 新製品、新技術の発表募集

LFPI のニュースレターで、貴社の新製品、新技術を発表しませんか？

掲載費無料で、フォント・画像・レイアウト等、自由にデザインいただけます。

掲載をご希望の方は、lfpi\_03@lfpi.org までご連絡ください。

### 【掲載条件】

- 一号につき最大 2 社までとし、3 社以上の申し込みがあった場合は先着順とします。
- 一社あたり最大 1 ページ
- 同企業・団体の記事掲載は年 1 回までとします。
- ユーザー会員も含む、全会員企業・団体の方にご利用いただけます。



## 出版物紹介

### 「バイオリファイナリーと分離技術」

2020 年 7 月刊行 (166 頁)

持続可能な社会への変革には、太陽由来のエネルギー（太陽光、太陽熱、波力、風力など）とバイオマス由来の炭素の利用が不可欠である。本書には、バイオマスをエネルギー源とするための、バイオガス、バイオエタノール、バイオディーゼルなどの生産、分離精製、将来のエネルギー媒体として期待される水素の生産、分離精製に関することが掲載されている。さらにはバイオマス由来の機能性成分の抽出、分離精製といった、エネルギーのみならず化学品としての利用に関わる多様な事例など、今後の持続可能な社会に必須な事柄が満載されている。



|              |     |
|--------------|-----|
| 1章 総論        | 1   |
| 2章 バイオガス     | 11  |
| 3章 バイオエタノール  | 29  |
| 4章 バイオディーゼル  | 42  |
| 5章 有価物製造     | 59  |
| 6章 水素発酵      | 90  |
| 7章 微細藻類      | 108 |
| 8章 電気化学活性微生物 | 139 |

価格 | 会員：2,200 円 非会員：2,500 円、LFPI ホームページからの購入可能です。

<https://www.lfpi.org/business/publication/book.html>

LFPI ホームページには目次詳細が掲載されています。こちらも参考にしてください。



**会**
**員**
**募**
**集**
**水の清澄化技術について**
**会員メンバーと共に**
**交流を深めませんか？**


LFPI は、  
液体清澄化技術の確立と  
普及を促すことで、社会への  
貢献を目指しています。



半導体・医薬品・高分子・石油化学・上下水道・産業排水などにおける各種液体の清澄化技術に関連した多くのメーカーやユーザーが参加しています。

## 委員会メンバー也大募集中！

- ◎広報委員会
- ◎国際交流委員会
- ◎総務委員会
- ◎環境・エネルギー委員会

- ◎技術委員会
- ◎青年部会
- ◎SDGs研究委員会
- ◎産学共同委員会

WEB サイト



## 会からのお知らせ

### ★「第30回定時総会&特別講演」のお知らせ

開催日と特別講演の講師が決まりましたので、速報としてお知らせします。

期 日：2026年10月6日（火）  
会 場：東京都港区「駐日ラオス大使館」  
（事情により変更の可能性あり）

特別講演：大川原化工機株式会社  
代表取締役会長  
大川原 正明 様



### 大川原化工機冤罪事件に遭遇して ～人質司法と外為法～

1. 経営理念と「平和への誓い」
2. 突如として始まった「捏造」捜査
3. 11か月の長期拘留と奪われた命
4. 真実を明らかにするための法廷闘争
5. 日本の人質司法
6. 日本の外為法とAGのCCLH
7. 皆様へのメッセージ：危機管理と正義

\* 詳しくは別途会員様あてにメールでご案内します。  
みなさま是非ご聴講下さい。

## 編 集 後 記

酷暑日という予報用語が設定されて初めての夏、本ニュースレター発行時には、すでに使われ始めていることでしょう。最高気温が40℃以上の日、せめて少なくあってくれと願います。

さて、今回も無事にニュースレターをお届けすることができました。著者の方々の経験や体験が、言葉に落とし込まれ、並べられ、文章になる。それはとても時間のかかることです。皆様のご協力に、改めて感謝申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

〈株式会社加藤美蜂園本舗 本間 しおり〉

- ◆ 発行：日本液体清澄化技術工業会
- ◆ 編集：広報委員会（担当 AOKIスクリーン(株) 岩井、(株)加藤美蜂園本舗 本間）
- ◆ 住所：〒532-0021 大阪府大阪市淀川区田川北1-12-11
- ◆ TEL：06-6308-1011 (株)トーケミ内 安達 FAX：06-6308-1099
- ◆ LFPIホームページ <https://www.lfpi.org>